

特 集

製材の匠

青森が誇る最高品質の木材を扱う職人もまた、
高い技術と経験をもった「匠」の職人です。





青森県森林組合連合会

代表理事会長 本間家大

代表理事専務 須藤広明

〒030-0813 青森市松原一丁目16-25

TEL 017 (723) 2657 FAX 017 (723) 1505

青森県森林組合十和田木材流通センター

〒034-0102 十和田市大字大沢田字池ノ平49

TEL 0176 (27) 2996 FAX 0176 (27) 2667 携帯 090 (4881) 9631

青森県森林組合下北木材流通センター

〒035-0044 むつ市赤川町17-8

TEL 0175 (22) 6780 FAX 0175 (22) 6856 携帯 080 (3500) 4136

青森県森林組合津軽木材流通センター

〒036-0332 黒石市大字牡丹平字柏木山観音沢5

TEL 0172 (52) 5011 FAX 0172 (52) 2864 携帯 090 (2027) 7775



天然青森ひば（青森県の木）

★抜群の耐久性

- ・湿気に強く、腐りにくい
- ・抗菌、抗カビ
- ・シロアリに強い
- ・消臭、脱臭効果



健やかな暮らしに、確かな自然素材をご提供致します。



青森原木市場（月1回開催）

～ 私たちは、森と共に生きています ～

青森県森林整備事業協同組合

理事長 前田武廣

〒030-0955 青森市駒込桐ノ沢129-1

TEL 017 (743) 5411 FAX 017 (743) 5410



私たちは森林資源の循環利用を担っています。

森林整備に関するご相談承ります。

青森県国有林材 生産協同組合

〒039-3524 青森市大字滝沢字住吉1-2

TEL 017 (726) 6305 FAX 017 (718) 5012

割り箸とエコを考える。

『割り箸を使うのはエコではない』と、よく耳にする。実際、
 外食産業の発展と共に割り箸の使用量が激増し、生産が追いつ
 かなくなったため、割り箸を作るために海外から原木を輸入し
 ている。海外では伐採後、植樹を行わない地域があるため、山
 が荒れ、砂漠化の原因になっているとも言われるのが、エコで
 はないという所以ではないだろうか。

近年では、割り箸の替わりとなるプラスチック製の「エコ
 箸」が導入されているが、再利用する過程を考えると、これも
 またエコとは呼びにくいものである。

元来、割り箸は間伐や伐採で手に入る木材を最後まで使い切
 るべく生み出された、いわゆる「アイディア商品」なのだ。間
 伐は山の環境保護の為の重要な作業だが、木材の需要が減った
 ため、手入れが行き届かず荒れたまま放置されている所もある。

日本には伐採後に植樹する為の設備や機械が揃っている。植
 樹を行う技術も組織もある。それ故に循環し枯渇しない森林資
 源は、「日本の資源」と呼べるのではないだろうか。その上で
 『国産の割り箸を使う事は、森林資源を循環させる一端にな
 る』と考えると、本当のエコとは身近な所にあるのではないだ
 ろうか。

KAMIKITA
FOREST ASSOCIATION
上北森林組合

〒039-2827 上北郡七戸町字森ノ上87-1
TEL 0176 (69) 1200 FAX 0176 (69) 1201
E-mail office@kamikita-kfa.jp/
<http://www.kamikita-kfa.jp/>

「南部あかまつ」の高品質な製品を提供

古来より、『あかまつ』は私達の暮らしと深い関係にあり、建築用材はもろろの事、食器、木工製品、杭など様々な用途で生活基盤を支えてきました。

一般的なアカマツ材のイメージで思い浮かぶのは、「ねじれ」「割れ」など、扱いにくい用材の印象がありますが、より良品質な建築用材が求められる時代に向けて良質なアカマツ製品の生産が必須となっています。この為、公共事業にも対応出来る建築用材の生産に向けて、アカマツ材に適した人工乾燥機の導入や製材技術の検討、更には、研究機関と連携し、曲げ試験や含水率の抑制を行う事により、強度も申し分ない良品質な製品を生産してまいります。今後は、幅広いユーザーに『ナチュラルな光沢』や温もりを肌で感じて頂き、通年生産による安定供給の可能性を追求して行きます。



高品質に仕上がったあかまつ梁材



建物全体が明るくなる鉛色のフローリング材



気取らない重厚感 無垢の梁材



JForest 三八地方森林組合

〒039-1528 三戸郡五戸町大字浅水字陣場92-2

TEL 0178 (67) 2003 FAX 0178 (61) 8639

<http://www.38shinkumi.jp/>

E-mail stsk3465@lapis.plala.jp





木工教室

校外学習会



地産地消と環境整備を伝える

小学校・中学校で、林業と環境についての講習を行ったり、高校生には林業の現場を体験してもらうなどの取り組みを行っています。そこには『自分達が家を建てる時に使う木材を自分達で植林し、他の人が植林した木を使う場合は、自分達が植林した木材を他の人に使ってもらおう』という地産地消を推進する目的があり、またそれが環境整備にも繋がるという事を知ってもらうためです。

JForest 東通村森林組合

〒039-4222 下北郡東通村大字砂子又字沢内9-35

TEL 0175 (48) 2882(代) FAX 0175 (48) 2884

E-mail gyomu@higashi-sinrin.or.jp

木材加工センター

〒035-0005 下北郡東通村大字田屋字上流66-1

TEL・FAX 0175 (22) 5656 E-mail mokuzai-kakoucenter@higashi-sinrin.or.jp

ホームページ <http://higashi-sinrin.jp/>



工場でお客様に説明する笠原氏



CADで綿密な設計を確認する



案内前の打合せ



プレカットの精度を確認するお客様

お客様に安心して使っていただく為、
加工技術は日進月歩で向上しています。

工場の見学会を行っていますので、是非お問い合わせ下さい。

ノルト・ラント

北の大地

青森木材高次加工協同組合

〒038-1301 青森市浪岡大字大釈迦字沢田113-43

TEL 0172 (62) 0188 FAX 0172 (62) 0190



制作したテーブルとイス
(焼きイカ通り)

鱒ヶ沢町観光案内所の内装



製材所として地域に貢献

総務省が推進する「域学連携事業」として、青森県鱒ヶ沢町と共同でまちづくりプロジェクトを立ち上げた、東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 櫻井義夫教授の研究室の取り組みで、鱒ヶ沢町の観光案内所を改装する際に使用した杉を製材しました。

また地元の人や観光客に木材を親しんで貰おうと、ホテルや焼きイカ通りに特製のテーブルとイスを進呈しました。

建設資材販売・工事一式

アジモク

〒038-2761 西津軽郡鱒ヶ沢町舞戸町東阿部野114-6

TEL 0173 (72) 3242(代) FAX 0173 (72) 5757



ひば油工場

集成材工場



青森ひばを余すところ無く使う

ひばの羽目板や柱を製材すると、必ず端材がでます。その端材を粉碎してひば油を抽出しています。その量は、およそ年間で10tにもなります。抽出したひば油は、道の駅や通信販売等で購入頂けます。アロマオイルや入浴剤としてだけでなく、掃除用品やひば製品の香り回復など、多岐に渡りますので、ご自身のライフスタイルに合わせてご活用下さい。



変色を防ぐため、直射日光を避けて保管して下さい。

木村産業 株式会社

〒037-0404 五所川原市大字磯松字唐皮31
TEL 0173 (62) 3425 FAX 0173 (62) 3571



職人の腕が問われる天然青森ひば

ひばを使った浴槽が県外で人気があり、風呂材を出荷しています。
板目は乾燥すると若干の狂いが生じるので、風呂材には狂わない正目が適しています。

杉は樹齢100年以上で正目の製材が可能になりますが、ひばは250年ほどかかります。

つまり、今製材しているひばが植えられたのは少なくとも250年前、江戸時代の木材なのです。それほどまでに成長に時間がかかるひばを扱うには職人の技術が問われます。

今では丸い浴槽を作れる職人はほとんどいなくなりました。

この事実ひとつとってみても、県産材を使うには、県産材を使える職人を育てなくてはなりません。

天然青森ひば

 工藤秀製材所

〒030-1273 青森市大字左堰字大科4

TEL 017 (754) 3552

知っていましたか？
柱はひび割れた方が、より強度が増します。

見た目で評判が悪い柱のひび、確かに美しくありません。
身の回りでひびが入ると脆くなる物が多いためか、建材としても敬遠されます。

ところが、木の場合は少し違ってきます。

木が乾燥すると、水分が抜けた細胞（繊維）同士が密着し、より固くなります。

その繊維が密着する過程でひびが入るのです。

イメージが悪い「ひび」も、実は耐震性の向上に役立っています。

四面プレーナー掛け

株式会社 熊谷木材

〒038-2207 西津軽郡深浦町大字黒崎字小浜184-1

TEL 0173 (78) 2434 FAX 0173 (78) 2435

ナノだから水にスゥーと溶ける!!

水で簡単希釈 **ナノヒバ油**



気になる臭いにお手軽ワンプッシュ

青森ひばの香りのミストがお手伝いします。

- * チョット気になるお部屋の臭いに
- * お掃除後のジュウタンやカーテンに
- * トイレを清潔なさわやか空間に
- * 足の臭いが気になるときに
- * 靴やスリッパもスッキリ・清潔に
- * 生ごみの臭いが気になりだしたら
- * 楽しいドライブに…ヒバの香りが疲れを癒してくれます。
- * かわいいペットのいるお部屋にシュッ。



青森ひば 香りのミスト 発売中

30ml入 800円 (税抜き)

詰め替え用 ナノヒバ油

30ml 1200円 (税抜き)

※水で10倍に薄めてご使用下さい。

お買い求めの際は、青森県物産(株)アスパム店・空港店、金木観光物産館マデニー、青森通販 (<http://www.aomori-tsuhan.com>) 等でご購入頂けます。

 **小館木材** 株式会社

〒038-0059 青森市大字油川字千刈127-20

TEL 017 (788) 8125 FAX 017 (788) 8127

<http://kodate.co.jp/>

耐湿・耐朽・耐蟻

天然青森ひば集成材

JAS認定 JPIC-LT 147 F☆☆☆☆ 取得工場



錦帯橋

青森ひば

FLOOR



野辺地中学校玄関ホール 天井、壁は青森ひばを使用

井 駒井木材 株式会社

〒030-0155 青森市大字大谷字山ノ内16-1

TEL 017 (762) 4004(代) FAX 017 (729) 1443



お陰様で創業130年

県産材の魅力、それは天然素材が創り出すやすらぎの空間。
当社が売りたいのは夢です。



齋藤木材 株式会社

〒038-0002 青森市沖館三丁目10-1

TEL 017 (781) 1148(代) FAX 017 (781) 1268



樹齢200年以上のひばの原木

無垢の木を使って欲しい

天然乾燥は2～3ヶ月要しますが、乾燥機を使うと製品が出来るまで約3週間で出来上がりますが、製品にした時に差（乾燥のムラや内部割れ）が出てしまいます。

以前に比べ注文から納期までが短くなってきたため、乾燥機を使いますが、いい製品を作るにはある程度時間を要するのです。しかし、その分長期間使用できる製品になるという事も知って欲しいと思います。

笹山木材 株式会社

〒037-0405 五所川原市脇元赤川257-2

TEL 0173 (62) 2840 FAX 0173 (62) 2509



丸太から角材へ

製材所がお客様にとって、 もっと身近な存在でありたい

住宅の土台には、青森ひばが一番だと思います。防虫防腐だけでなく、耐用年数にも優れているのが最大の魅力です。

大工さんに建材を造るだけが製材所ではありません。近年、ホームセンターで木材を買って加工されている方を見かけますが、製材所はお客様に合わせた木材をオーダーメイドで用意する事が出来ますので、日曜大工（DIY等）に是非お役立て下さい。



青森ひば 住んで良し 香り長持ち日本一

企 有限会社 島 木材工業

〒039-4601 下北郡大間町大字大間字蛇浦道11-7

TEL 0175 (37) 2071 FAX 0175 (37) 3926

E-mail simamoku@r20.7-dj.com

JAS認定工場

製材一筋55年、建築を支え続けてきました
これからも支え続けていきます

建築材、土木材、建具の製材はもちろん、遊歩道
や橋の材料などの出荷も行っています。

お客様に安心して使って頂くため、乾燥材のプレ
ーナ掛けも行っています。

青森特産ヒバ一般建築材
乾燥剤プレーナ掛

中島製材所

〒037-0403 五所川原市十三通行道103-82
TEL 0173 (62) 2169 FAX 0173 (62) 2172



2F研修室。アカマツのフロア、青森ひばの通し柱

地産地消で地域経済の一助に

製材、プレカット、建具は常に家1棟分以上ストックしています。

また乾燥材の保管施設を新設し、今後杉の消費量を400㎡から1200㎡に拡大し、地産地消と雇用を促進していきたいと思えます。

現在、従業員は24名ですが、4月までに更に6名採用し、地域の発展にも貢献します。



有限会社 なかにし

〒037-0202 五所川原市金木町芦野365-384
TEL 0173 (53) 3222 FAX 0173 (52) 2236



オーダーメイドのまな板は、ニーズに合わせたサイズで作る事ができる

ひばは捨てるどころが無い

県外では人気が高い青森ひばは住宅だけではなく、生活にも役立っています。

抗菌・殺菌効果があるのでまな板や芳香剤にも使えるという事で、県外へ出荷する事もあります。また以前は沖縄の首里城の修復や長崎のハウステンボスの建設に使用するため、出荷した事もあります。

あるお宅では、築45年以上経ったので自宅をリフォームしようと土台を調べたところ、当時使ったひばがそのまま使える状態で大変驚いたとお伺いしました。

ひばはすぐ近くにあり、また捨てるどころが無い木なので、もっともっと使って欲しいと思います。

天然青森ひば・一級建築材

有限会社 浜田製材所

〒037-0403 五所川原市十三通行道103-108
TEL 0173 (62) 3169 FAX 0173 (62) 3870
工場 0173 (62) 2145

福士木材



福士木材は大正5年に創業し
明年平成28年には100周年を迎えます

一般建材から土木用材まで幅広くサポートし、天然の青森ひば材については、その特質を生かした様々な製品を手がけています。



青森ヒバを利用した
白木の説法台

 福士木材 株式会社

〒030-0901 青森市港町3丁目11-21
TEL 017 (741) 6438 FAX 017 (741) 6439
E-mail fukushi-m@wing.ocn.ne.jp
<http://www.actv.ne.jp/~fukusi-m/>

松喰い虫の被害を抑えよう

松を製品化が出来ない「立ち枯れ」にしてしまう松喰い虫の被害が拡大しています。松喰い虫は、カミキリムシに寄生する1mm程度の線虫の一種です。カミキリムシが産卵に松を使い、幼虫は松を食べて成長し、成虫になると産卵する為に新たな松へと移動します。この過程で、線虫も一緒に次から次へと移動するのです。

一昔前までは、薪にするのに恰好の的だったのが、枯れた松でした。カミキリムシの幼虫と松喰い虫がいる枯れ木は、薪に使っていたため一定以上の被害が出ることはありませんでした。ところが、最近では枯れ木を放置したり、間伐が頻繁に行われなくなった影響もあるため、松喰い虫の被害の拡大は余談を許さない状況になりつつあります。

木材を扱っている以上、環境保全も仕事のうちです。県産材へ被害が拡大する前に、するべき対策を、早急に手を打つべきではないでしょうか。



有限会社 藤田製材所

〒038-2806 つがる市木造越水長谷川54-5
TEL 0173 (26) 2051 FAX 0173 (26) 4380
E-mail h1217@jomon.ne.jp



あなたの家をあなたの木で

例えば居間の一本の柱。

『この柱はおじいちゃんが育てて、お父さんが伐った木なんだよ』

あなたが育てた、引き継いだその山の木を、

あなたの家に使ってみませんか。



有限会社 前田林業

〒030-1305 東津軽郡外ヶ浜町字蟹田小国品吉95

TEL 0174 (22) 2350 FAX 0174 (22) 3313

取扱事業：素材生産、造林、育林、伐採請負、一般貨物自動車運送事業
立木買取、丸太買取、丸太販売、建築材販売、銘木テーブル天板等販売
その他付帯事業



青森県産材の自転車スタンド。今春から県内の観光地に設置されます。

屋根下地材には合板より 「巾広くん」をお勧めします。

合板は野地板より施工しやすいのですが、薄い板を接着剤で貼り合わせているため、屋根材として使用すると雨漏りや湿気で剥離するなどの問題があります。そこで、長さ4m幅20cm程度と通常より幅広で長尺の青森県産杉の野地板「巾広くん」を提供しています。「巾広くん」2枚で合板約1枚分となるため、施工の手間が従来の野地板より大幅に軽減される上、合板より安価になり、たいへん好評を得ています。

受注してから生産になるため提供まで少々お時間頂きますが、幅や厚さに自由度があります。是非使ってみて下さい。

薪ストーブをご使用中の方へ

薪ストーブ用に最適な長さにカットした薪、約1.5^m（180cm × 90cm × 90cm の箱）あたり税込3,000円で販売中です。防腐剤や集成材など接着剤が含まれた材は混入せず、青森県産の丸太を製材する過程で出た端材なので、環境や健康にやさしい薪です。

※業務の都合上、配達は行っておりませんので、ご了承下さい。

 株式会社 盛興業社製材所

〒030-0852 青森市大字大野字前田63-2

TEL 017 (739) 6267 FAX 017 (739) 6257

E-mail marumo@snow.plara.or.jp



職人だからこそ、未来を見据えて

だんだんとプレカット材の使用が増えている中で、大工の仕事に変化がみられます。手刻みでの建築材の加工や「大工の腕」が一番必要とされる和室作りは、まだまだ需要があります。そこで、各樹種の丸太を豊富に揃え、家一棟分の材料はもちろん、和室用の化粧材など、お客様のニーズに合わせた特殊寸法への製材にも対応しております。特に、赤松・杉など県産材の地産地消に力をいれ、長尺材・特殊材は乾燥から製材まで行います。

県産材の家
注文住宅

一級建築材 青森ヒバ・ケヤキ・スギ・アカマツ・栗・米松 その他

木造住宅 設計・施工 住む人の視点に立った家づくり お気軽にご相談ください

有限会社 山内製材所

〒039-2129 上北郡おいらせ町中平下長根山1-824

TEL 0178 (56) 2746 FAX 0178 (56) 4622

第一次産業を支える人々の重要性

家を建てる時、そこには様々な仕事がある。その仕事は一体誰がやるのか。人である。

現代においては、仕事もその働き方も多様化している時代になった。第二次・第三次産業が発展してきたからこそ、日本の技術は世界から認められるまでに飛躍している。しかし、忘れてはならないのは、技術が発展し、日々の暮らしが豊かになろうとも、それを支えているのは第一次産業に他ならない。それにも係わらず、そこを疎かにするのは愚の骨頂ではないだろうか。産業だけではない。従事する人があってこそその産業である。

雨は山で浄化され、清水となって湧きだし、川となって海へと流れ、再び雨になる。このサイクルがあるからこそ自然が豊か、と呼べる。しかし、山が荒れると、水は浄化されず、川の汚れは、海を荒れさせる。この負のサイクルを正常に、否、清浄にしなければ、荒廃を免れないのは火を見るより明らかである。

故に、これから益々重要になってくるのは、環境保全と森林資源の循環の両立が可能な第一次産業であり、その産業を支えている人を、産業に従事する人を、守り支えていくのが、国や行政の役目ではないだろうか。そこを無くして日本が、青森が発展していくとは考え難い。

森林資源の循環は数十年単位という長い時間が必要である。であるからこそ、数十年先の未来を考え、手を打つのは「今」でなければならない。

株式会社 山口製材所

製材部・建設部 〒039-0613 三戸郡南部町大字森越字白樫沢5
TEL 0178 (75) 0065 FAX 0178 (75) 0019
E-mail woodhouse-65@nifty.com

本社 http://homepage2.nifty.com/woodhouse-65/
〒039-0612 三戸郡南部町大字剣吉字大坊6-20
TEL 0178 (75) 1702



12~14mの杉

建築を支える側としての役割

製材所が無くなると困る、と言われている以上、安心して使って貰える製品を造る義務が我々にはあります。過去には40m級の製材を行った経験もあります。

最近では大工さん以外の方が自分達で木材を使って何かを作る事も増えてきていると聞きます。建築を支える側として、『ほっとする』木のぬくもりが伝わる製材技術を保ち続けていき、そういった人達にも使って貰えるような製品を提供していきたいと考えています。

株式会社 わかもと

〒034-0051 十和田市大字伝法寺字大窪92-5
TEL 0176 (28) 2244 FAX 0176 (28) 3568

あおり産木材地産地消ガイドブック

青森県産材で エコな家づくりⅥ

ふるさとの木を生かし 山を守る

2016年3月20日 初版第1刷発行

〈発行所〉

青森県木材利用推進協議会（青森県木材協同組合内）

〒030-0151 青森市高田字川瀬104-1 TEL 017-739-8761

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

あおもり産木材地産地消ガイドブック

青森県産材で エコな家づくりVI

ふるさとの木を生かし 山を守る

